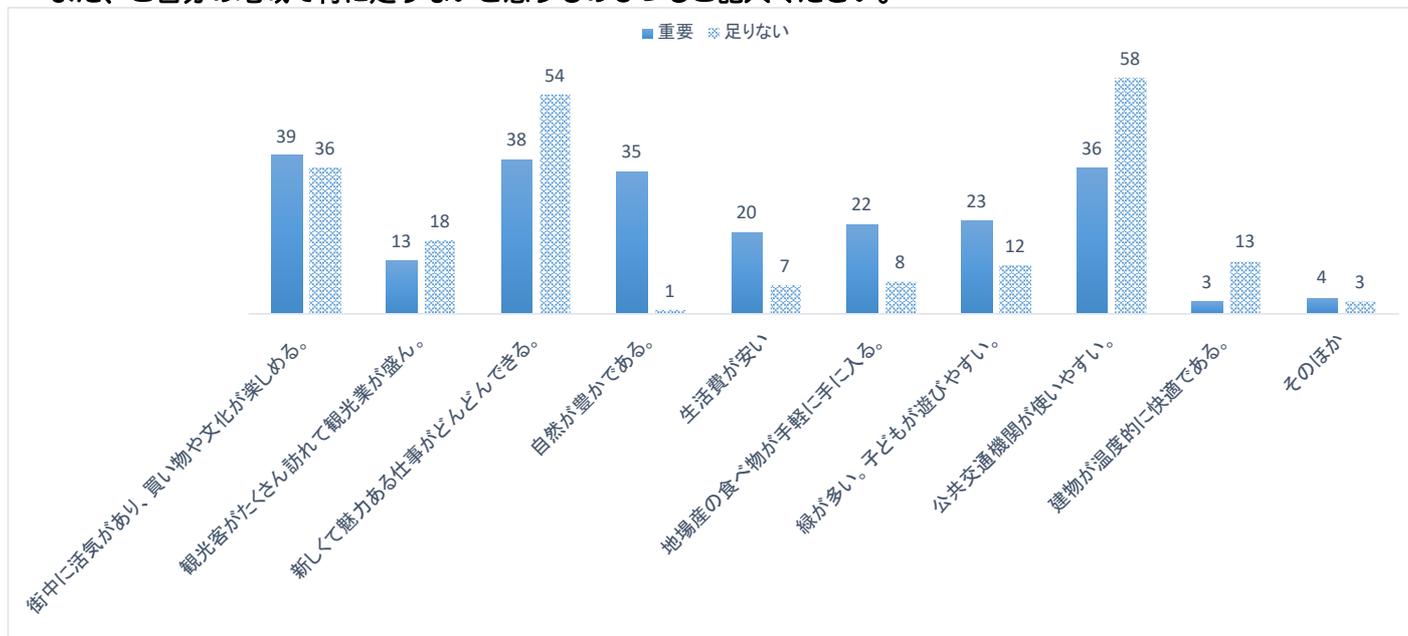


「持続可能な上田を考える会」2020.1.21 アンケート集計

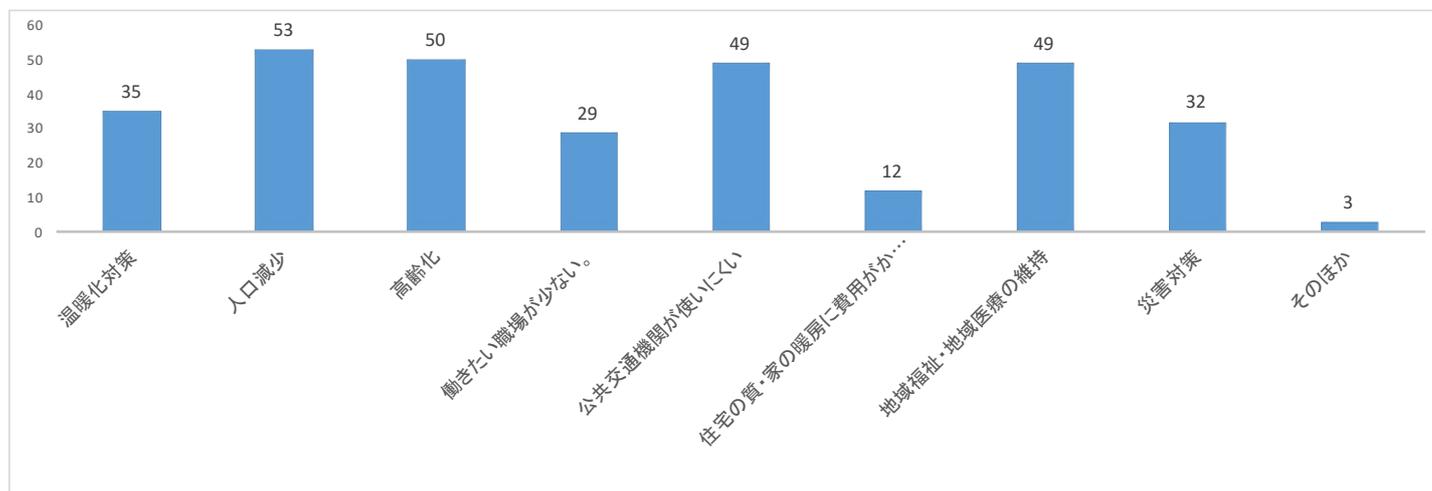
＜ 参加者 111人 ・ 回答者 84人 ＞

1 あなたの地域の将来ビジョン、特に重要と思うもの3つに印をつけてください。

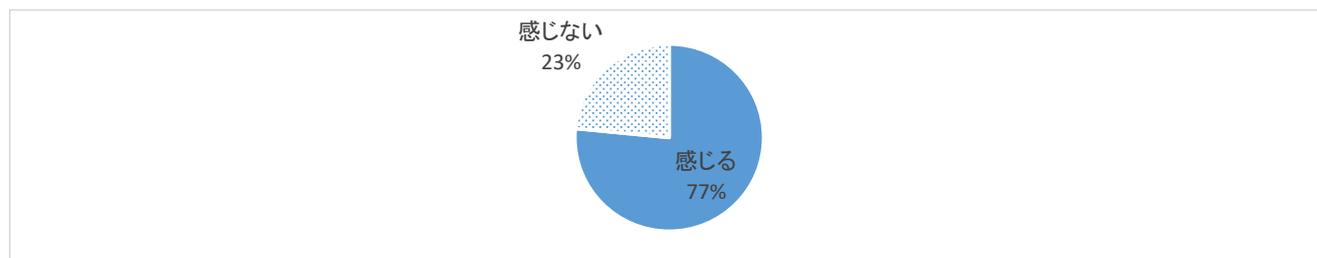
また、ご自分の地域で特に足りないと思うもの3つもご記入ください。



2 地域の課題は何だと思いますか？重要と思うもの4つに印をつけてください。



3 あなたは住んでいる町で人口減少の影響を感じますか？



・ 感じると答えた方はどのようなことを感じていますか？（いくつでも）

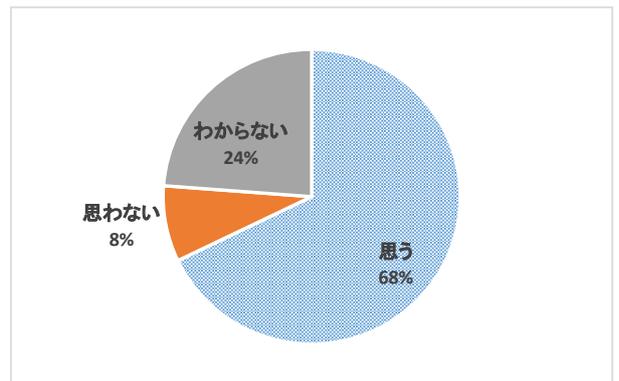
<感じる>

- 空き家が増加している（12人）
- 子どもの人数減少（11人）
- 幼稚園・小中学校のクラスの数減少（5人）
- 人口減少（4人）
- 自治会の役員をやれる人の減少（3人）
- コミュニティの維持が困難になってきた・なりそう（3人）
- 少子高齢化が進み、街に活気がない。（3人）
- 中心市街の空疎化（2人）
- 独り世帯の増加（2人）
- 小・中学校の統廃合や存続（2人）
- 若者がUターンしてこない。
- 大学の外では若い人の顔を見るのが少ない。
- 地区内に若い人20～30代はほとんどいない。結婚してもどって来る人は少しはいるが。
- 子どもが地域の公園などで遊ぶ姿をほとんど見かけなくなった。
- 老人のみ世帯の増加
- 高齢者の一人住まいが増えている。
- 年寄りばかり、若い人がいない
- 行事等の参加人数
- 自治会活動のエネルギーが足りない。
- 少子化の影響でみこしのかつぎ手が年々手薄になっている。
- エネルギーを感じる場所が少ない
- 地域の将来に不安を感じる。
- 田畑が荒れている。

<感じない>

住んで1年未満でわからない。

4 あなたの住んでいる町をコンパクトシティにすべきだと思いますか？



その理由をお聞かせください。

<思う>

- ・ 集落内で空き家が多い
- ・ 田畑の宅地化、周辺化が進んでいる。都市機能
- ・ 地産地消の不徹底
- ・ 公共サービスを削除せざるをえない
- ・ 自治会の高齢化
- ・ 若い人が少ない
- ・ 高齢者も住みよい街づくりを行うとすれば賛成。
- ・ 高齢者が積極的に動いているとは思えないから。

- ・ 自分で運転できなくなる。
- ・ 年をとって車が運転できなくなった時、買物、病院通いが不安
- ・ 年老いた時に生活しやすい町だと多くの人が安心できる。
- ・ 公共交通機関のバスの本数が少なく、ほとんど利用されていない。
- ・ 公共交通機関を活性化させれば人が流動的になって人が活性化するから。人の力が必要だと思うから。
- ・ 地域拠点への公共交通のあり方が大切である。
- ・ LRTの様な仕組みができれば脱自動車も実現できます。
- ・ 都市と都市は公共交通でつなげる。または、徒歩や自転車や軽車両などで通れるロード整備する。
- ・ 集約された拠点に機能的なマチを形成して欲しい。一方、便利さよりも広さ開放感が好きな人は郊外に住めば良いと思う。
- ・ 街中にぎやか、税収増で周りの農村も栄える
- ・ 特色があれば人は集る。(食)文化、芸術。
- ・ 上田の地域ごとの文化を守れると思うから。
- ・ 乱雑な開発、地主の勝手開発、農業委員会等が旧態で開発をじゃましているだけ
- ・ インフラの充実効果を上げるため、乱開発を規制するべき。
- ・ 住んでいる地域が台地の上にあり、古い集落農家がある為、公共交通機関から離れており、バスの本数も減っている。どんな形でコンパクトシティとからめられるか考えていきたい。
- ・ 車を使うのがすごく大変。道が台風で使えないし・・・。それと子供をみんなで育てたい。町の空き家に住まわせてほしい。
- ・ 人がつながり、地域が活性化するためにはコンパクトシティ化すべきだと思うが、今ある建物は？空き家は？耕作放棄地は？ さらにその問題が進みそうです。
- ・ 思うが、100人200人程度の集落が集まることもコンパクトシティの概念に入るか知りたい。
- ・ せざるを得ないが中心部に集中さというイメージが大きすぎる
- ・ 街の中心機能のさらなる発展が必要だと感じているから。
- ・ 未だに拡張政策を続けて将来を見据えていないので。
- ・ 多極化のコンパクトが大切な事と、地方自治体ごとの命を支えるエネルギーや交通等、社会インフラの整備が必要と再確認。
- ・ 町の維持管理費が少なくてすむ。
- ・ 今のままの政策は財政的に支えられなくなるのは明白なので、できるだけ早くコンパクトシティをめざす方が良い。
- ・ 市民のコミュニティの希薄化→無法地帯の増加、治安の悪化。
- ・ フラクタル、上田市全体、地域、自治会、集落単位で、それぞれの核（厚みをもった地域）が存在する。メリハリのある都市構造あるいは集落構造が必要と考える。
- ・ 団子と串の構造にして郊外は公園・アクティビティ・農地などにし、健康向上・一次産業の維持・食料の地産地消を進める。
- ・ 人が集住する事による経済的、文化的、環境的メリットが大きいため。
- ・ 農の活性化は土台として確保すべき。
- ・ コンパクトシティ化する上で、拠点ではない土地利用もセットで考えるなら。
- ・ 本日お聞きした富山市の例は魅力的。
- ・ 富山市のように真似ではなく上田独自の考え方で。
- ・ 今日の講演で特に思った。(富山型)
- ・ これしかないのでは？
- ・ 地域住民の理解・協力が前提となると考えられる。
- ・ 昔の集落(車がさほどなかった頃)が生活しやすい。エゴ。
- ・ 催事の担当者がいくつも催事に関わっていて忙しいと感じている。
- ・ 次世代に負の遺産を残さないため。
- ・ 人口減少時代をのり越えていくために必要だと思います。
- ・ これまではそれほど深く考えることがなかったのですが、今日の会を通じて強く思うようになりました。
- ・ 皆で支え合うことが大事。

<思わない>

- ・ 居住の自由は保障されるべきである。
- ・ 住み慣れた地域でピンピンキラリ。
地域の人が住める場所にまんべんなく人が住んで、営みがあることが森林や農地保全・獣害対策になり、地方ではとても大事。
- ・ 田舎あつての都会、田舎あつての国土。田舎のインフラ維持は国が柔軟に出すべき。
- ・ 中山間地域であり、集落集中はすべき。山間部は小学校区を重要視。市街地は必要。
中山間地に住んでいる高齢者世帯の方やバス停まで行けない方が多い。一概にコンパクトシティではないと思う。コンパクトシティにしたとしても、また同じ事をしないといけない状況になるのではないか？

<わからない>

- ・ 未来に生きる子供たちの意見も聞く必要。今後技術革新が急なため価値観の変容があり、どのような街・生活スタイルになるのか予測がつかない。
- ・ ヨーロッパの都市は城さい都市であり、コンパクトシティ化が容易。農耕民族の日本人はやり方がちがう
- ・ 上田はとても暮らしやすく大好きです。
- ・ コンパクトシティについてはいろいろなタイプがあり、もっと議論し具体的に検討すべきである。
- ・ 国がすすめている考え方が気にいらぬ。上田市がつくった計画はそれなりに評価している。
長期的な目で見たとときに効果的だと理解できた一方、初期費用のしわ寄せが来ることに耐えられるか不安なため、わからない。
- ・ 上田市はとても広く魅力がわからないところも多いから。

5 あなたは公共交通機関をどのくらいの頻度で利用していますか？（往復は1回）

毎日～	2
週に4回程度	10
週に1回程度	7
月に2回程度	7
月に1回程度	9
数ヶ月に1回程度	14
1年に1回程度	2
ほとんどない	15

回答数 66

6 本日の勉強会についてご意見ご感想をお聴かせください。

- ・ 田中さんの説明が良かった。（明瞭、短い）
- ・ 背広組の参加が多いなあ～
人口減少に伴うインフラや財政的な事でなく、今回の内容でしたら「所有権」と「利用権」空き家等に関わる話が聞きたかった。
- ・ ※自治体は税収以外の収入源を模索していかなければいけない。
- ・ 非常にわかりやすかった。もう少し詳しく聞きたいパートもあった。
私自身「人口減少と経済成長について勉強している身ですのでとても興味深いお話を頂きとてもありがたいです。富山市のみならず国外へも目を向けドイツの例も初めてのことで新たな知見を深めることができました。
- ・ 大変勉強になりました。

- ・ 人口減少が必ずしも悲観的なものではないと思える内容でした。
- ・ 「製造では企業毎に効率を考える。サービス業は全国一律で同じサービスをしている。コンビニなど24h営業などもその一例であろう。」 ←生産性の説明？
- ・ 田中氏のイントロは良かった。
- ・ エネルギーの分散化の意義が理解できた。上田電鉄別所線の被災からすぐに復旧という流れになったことは持続可能な交通手段について幅広い議論がなく残念。将来展望やどんなまちにしたいのかという視点でまちづくりしてもらいたいと感じた。
- ・ 市内から都内に通勤可能な住居を上田駅周辺に建築。駅前空地の有効利用を市で考える。
- ・ 地域の今後の姿をイメージする上で参考になりました。
- ・ ドイツ・富山の例は勉強になった。
- ・ 地域インフラについてはもっと真摯に検討すべきだと思った。
- ・ 大変参考になりました。別所線を基軸にコンパクトな街づくりを進めたらどうか。各駅から徒歩5分以内の土地に家を建てることをすすめ、下之郷の東の山（市の土地）にソーラー発電施設を作り電車を動かしたら・・・など。（農振解除が大きな問題か）
- ・ 建設業・上下水道・バス事業者・上田市の自治体職員（技術職）、どの業界も人材不足・技術の継承に危機しており危機意識。ドイツのシュタットベルケは大変参考になる話しでした。大変勉強になりました。
- ・ 気候変動はそのまま進行すると人口減少どころか人類が滅亡してしまうのでは？
- ・ 諸富先生のお話について：コンパクトシティ化と再エネ活用による町づくりの道すじが見える大変密度の濃い内容でした。再エネを活用した、信大キャンパス、坂城工業団地ほかを対象とした自治体PPSの設立を検討してはどうでしょうか？
- ・ これまで学んだこともかなりありましたが、このような機会をつくってもらいありがとうございました。
- ・ 人口が減少していくなかでそれに応じた町づくりが必要だと感じた。
- ・ 大変素晴しかったです。
- ・ できることからしないといけないと痛感した。
- ・ 大勢いてびっくりした。
- ・ インフラを地域で、地域にお金がおとされる仕組みがよくわかりました。
- ・ 日本版シュタットベルケに興味を持ちました。人口減少しても地域活動が維持できる市である事が必要と思いました。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 太陽光と蓄電器を組み合わせたスマートシティを配電網の自由化でもう少し広範囲で考えるべきでは。
- ・ シュタットベルケの考え方が大変参考になり、希望が見えました。
- ・ インフラとエネルギーを地域課題に結びつけて問題解決を図る考え方、学習を深めてまいります。ありがとうございました。
- ・ 話が分かりやすく、理解が進んだ。時間をかけて考えたい。
- ・ とても良かった。具体化・具現化するにはキーマンが必要（キー会社、キー資本）
- ・ 話はなるほどと感心した。理解するには時間がかかるが、今日の内容は常時気に掛けていきたいと思ったほどです。
- ・ イベントのテーマどおり、上田市の現状を踏まえた具体的な話もあればよかった。ヒントはいただけた。
- ・ たくさん人が来てよかった。
- ・ 田中さんのお話とてもわかりやすかったです。諸富先生のお話、富山の事例やドイツの話などとても参考になりました。しかしながら継続してこのことについて考える機会や勉強する機会をつくらなければと思います。
- ・ 住民一人一人の意識化・主体化かなー。
- ・ 良かった。次は行動ですね。
- ・ エネルギーについて、温暖化対策が気になる。
- ・ 普段聞くことができないような話が伺えてよかった。色々な職種の方が来ておられましたが、皆の力を合わせて上田を良くしていけるような気がした。
- ・ よかった。
- ・ とても勉強になった。
- ・ ドイツの事例が日本に通用できるのか難しいように感じました。
- ・ 「持続可能な〇〇を考える会」は全国どこでも必要です。行政、企業、金融機関など関係ある皆さんが参加されたようでよかったと思います。次のステップにつながればと思います。